

Honoring our heritage, Embracing our diversity, and Sharing our future

夫 明美

2015 年 2 月 19 日にオバマ大統領はハワイ州オアフ島にあった日系人収容所のホノウリウリの跡地を国定史跡に指定することを発表しました。同収容地は第二次世界大戦中の 1943 年真珠湾付近に設けられ、4000 人もの日系人と戦争捕虜が収容された施設です。施設といっても決して快適なものではなく、「バラック小屋」という表現のほうがふさわしいかもしれません。実際、同所の環境は「ジゴクダニ」と呼ばれるほど過酷なものでした。(The untold story: Internment of Japanese Americans, 2012)

読者の方々もよくご存じのように、オバマ大統領自身、ホノルル市内にあるプナホスクールの卒業生で、ハワイに非常に縁のある人物です。発表時の演説では、「過去の過ちを繰り返さないよう、我々の歴史の痛ましい部分を思い起こす史跡になる」と述べました。また、アメリカ政府の説明によると、ホノウリウリが選定されたのは「史跡指定の理由について「日系米国人社会に与えた衝撃や、戦時における公民権のもろさを語り継ぐため」とのことです。(補足：日系アメリカ人=Americans with Japanese Ancestry: AJA は真珠湾攻撃の翌年、1942 年大統領令 9066 号によって、日本人とともに「敵性市民」とされました。(田中,2009))

このニュースを喜びで迎えた、日系ローカルの方々のコメントを以下に紹介します。

ハワイ州知事 David Ige 氏：次世代の人々が、第二次大戦中に強制収容された日系人の経験を学ぶ場になるだろう。史跡を訪れることで、過去に不正義がなされたことを思い出す場になるだろう。(収容された)多くの男性はアメリカ合衆国のためにたたかった人々であり、誰かの夫、誰かの息子、誰かの兄弟であったのだ。

ハワイ日本文化センターディレクター Carole Hayashino 氏：新しく史跡として認定されホノウリウリは、我々の州、国家にとって大きなギフトとなるでしょう。収容された日系アメリカ人とその家族を代表して、オバマ大統領が元収容者に敬意を表したことと史跡を認定したことに感謝します。次世代に続くすべてのアメリカ人が不正義と許しについて学ぶ場所になるでしょう。

偶然のタイミングで、筆者は同時期に ICLDC という言語保持に特化した学会に参加するためにホノルル市内に滞在していました。合間の時間に同市内にある Japan Cultural Center Honolulu を訪問する機会もあり、ホノウリウリが「文化的に重要な施設」として認定を受けるために長年運動を続けておられたスタッフの皆さんは非常に嬉しそうで、誇ら

しそうでした。同施設のモットーを拙稿のタイトルに借用しました。教育が担う役割にも共通した意義があると思われます。

■参考文献

田中泉(2009)アメリカにおける日系アメリカ人史教育の最近の動向ーアジア系アメリカ人の1つとしての日系アメリカ人という立場ー広島経済大学研究論集第31巻第4号 pp. 1-15.

「ハワイの日系収容所跡、米の史跡に オバマ大統領表明」朝日新聞 2015.2.20

Japanese American Leaders Applaud Announcement that Honouliuli will become a National Monument Japanese American Leaders.

http://www.jcch.com/index.php/news/more/japanese_american_leaders_applaud_announcement_that_honouliuli_will_become retrieved 2015.2.28

The untold story: Internment of Japanese Americans DVD 2012.

(ふ・あけみ/本学准教授)
